

R5-03

警察・地域と連携した生活安全に係る活動

- 管 内 オホーツク管内
- 分 類 通学路の点検 防犯教室・防犯訓練 安全マップ
スクールガード・リーダー等の活用 その他（ ）
- 教育課程 教科（ ）科 道徳 総合的な学習（探究）の時間 特別活動
- 校 種 小学校（低）小学校（中）小学校（高）中学校 高等学校
- 取組のポイント

- 1 警察と連携した安全マップの作成と下校指導の実施
- 2 地域と連携した見守り活動による安心感の醸成

■取組の実際

ねらい

- 作成した安全マップを基にした下校指導を通して、地域の危険箇所を児童自身が把握し、命を守ることの大切さについて、理解を深める。
- 地域住民による防犯ボランティアに参加することで、自分たちが地域から見守られているという安心感を醸成する。

内 容

1 安全マップを活用した下校指導

興部警察署と連携し、校区内における自動車の出入りの多い場所や見通しの悪い場所等をまとめた「興部交通安全マップ」を作成した。

4月に、興部警察署の警察官に協力をいただき、安全マップの危険箇所について現地で確認しながら下校指導を行うことで、児童が安全な登下校の在り方について理解を深めることができた。



【興部交通安全マップ】



【下校指導の様子】

2 地域見守りパトロール出発式への参加

地域住民による防犯ボランティア活動の『わんわん見守り隊』の出発式に低学年児童が参加した。ボランティアの方々による生活安全に係る日常的な取組を知ることを通して、児童に地域から見守られていることへの感謝の気持ちや安心感を醸成することができた。



【わんわん見守り隊出発式】

成果と課題

- 安全マップを活用した警察官による下校指導や、児童の地域の防犯ボランティア活動への参加を通して、子どもたちの安全意識の向上が図られた。
- 出発式等の地域の活動に参加する時間を捻出することが難しく、継続的に行うのであれば、年間行事予定等への計画的な位置付けが必要である。